

加藤舎監長就任 「ドミトリ生活は生涯の宝」



4月に荒川工業高校から大島海洋国際高校舎監長に着任し、早くも3ヶ月が経ちました。専門色の濃い学校への赴任という事で戸惑いもありましたが、着任してみると「進学校」と錯覚するような進学率に驚きました。海洋国際高校ですので広く世界に目を向けた生徒の教育も必要と思いますが、しっかりとした目標をもった生徒を多く受け入れ、そのような生徒を教育していくことが本校の使命と思います。

さて、ドミトリでは様々な問題が発生します。ドミトリは「生徒自治」で運営され、後輩は先輩に指導され共同生活を覚えていきます。特に新入生は他人との共同生活をゼロから始めなければならず、不安が募っております。朝の点呼や集団での食事、掃除に洗濯など、これまで家庭で経験してきた生徒はほとんどいません。怒られ、ルールを守れないとき罰則を与えられ、集団生活でルールを守ることの大切さを覚えていきます。ここでルールを守ることの意味、思いやる心の大切さを知り友情が深まっていく、この共同生活は生徒にとって生涯忘れる事が出来ない素晴らしい宝となります。その手助けをすることが私達“ハウスマスター”の仕事です。

私は海国生に「思いやりがあり、細かい事にも気づき、きちんと挨拶が出来る」生徒になってもらいたいと考えています。そこで私はドミトリ生の全員と個別面接することから始めました。話してみるとそれぞれ悩みや不満、不安などを聴くことができました。私の経験や知識を生徒と共有する事で、生徒との“壁”をなくし、目標をもち未来に向かう事が大事だと生徒には常に話しています。

(舎監長 加藤 博)

横浜港カッターレース大会 報告

平成29年5月21日に第34回横浜港カッターレース大会に参加しました。横浜港カッターレース大会は全国でも最大規模のカッターレース大会で、208チームが参加しました。本校カッター部からは一般の部に3艇、女子の部に部員1艇と保護者1艇の合計5艇が参加しました。3年生主体の「Aチーム」は一般の部160チーム中で3位に入賞しました。一般の部入賞は初です。久しぶりに出場できた女子の部では「Dチーム」が27チーム中で準優勝の成績を収めました。これも本校史上初です。この大会で使う6人乗りの艇はあまりに規格が違うため、その艇で練習しているチームにはなかなか勝てなかったのですが、今年は素晴らしい成績でした。特筆すべきは「海国マミーズ」の活躍です。カッター部員のお母様方が集まったチームで2回の練習を積んで参加し、タイムは4分を切りました。素晴らしい漕ぎでした。お疲れ様でした！



最後に多くの保護者や卒業生から応援と差し入れを頂きました。大島島内では在島の保護者が移動の車も出してくださいました。PTA からも学校広報活動の一環として協賛金を出していただいております。多くのご支援のお蔭で過去最高の成績を収めることができました。

この場を借りて改めてご支援とご声援に感謝申し上げます。
(カッター部顧問 西山 大介)



秋廣平六翁没後 200 年記念事業に際して

波浮の港は 838 年に噴火した噴火口です。当時は入り口部分が塞がっており、池の状態でしたが、1703 年に津波の襲来で海水が出入りするようになりました。それを見た秋廣平六翁は江戸幕府に願い出て、波浮の港を開港しました。平六翁は 1817 年 4 月に亡くなられ、今年は没後 200 年に当たります。そこで、波浮港の有志により 5 月 27 日(土)旧波浮小学校において、記念行事が行われました。僧侶による読経に始まり、来賓挨拶、平六翁の紹介、各種演芸がありました。食事は大島の料理が提供され、盛会となりました。

本校の郷土芸能部はこの行事の中で御神火太鼓を披露し、ボランティア部も清掃等で行事運営に協力しました。葉山ヨットクラブの理事長さんが来賓でいらっしゃり本校校長とペナント交換しました。

(郷土芸能部顧問 平塚 正彦)



分野別・上級学校別 進路講演会

6 月 20 日の 4~6 時間目に、2・3 年生対象の進路講演会(ガイダンス)を行いました。生徒の「志望分野アンケート」の結果に基づき、大学・短大・専門学校・公務員・就職対策について計 18 講座を用意し、生徒は希望した 2 つの講座に参加しました。

海洋系の進学に興味のある生徒は東海大学海洋学部・国立清水海上技術短期大学校・東京農業大学(アクアバイオ系)、語学・国際系は神田外語大学、文系理系の総合大学として東洋大学、看護医療系として千葉県鴨川の亀田医療大学、芸術・表現系とし



て和光大学等、それぞれの学校の特徴だけでなく、学問そのものの面白さについてお話していただき、熱心にメモする2・3年生の姿が見えました。また今年は防衛大学の講座もあり、今までまったく知らなかった防衛大での学生生活に興味が高まった生徒も多かったようです。

他に、武蔵野栄養専門学校・蒲田保育専門学校・国際動物専門学校等、専門学校のブースでは将来の職業により直結する学びとして、資格取得等について詳しく説明していただきました。

また公務員の講座も毎年人気が高いです。今年度は大島警察署と海上・陸上自衛隊の他に、下田海上保安部も参加予定でしたが、講演会の数日前に起きたイージス艦衝突事故の対応のため、残念ながら欠席となりました。希望していた生徒も多かったのも、また別の機会を設けられたらと思います。

一度に18もの講座を開けるのは本校生徒にとって大変貴重な機会です。ぜひこの行事を自分の進路と向き合う一つのきっかけにしてほしいと考えています。

(進路指導・キャリア教育部 主任 神谷 晶子)



WBG(Water Boy's and Girl's 選手権大会)



7月15日、快晴に恵まれ本校プールにて実施しました。運営する運動委員会1年生の選手宣誓は「脚がつっても頑張ります」と力強いものでした。また、水上安全教室が行われ、海水浴シーズンを前にして、「自分の安全確保のため、救助に際してはできる限り道具を使い陸上から」と今西先生から講

話の後、水上安全法の講習を受講した3年生12名が救助のデモンストレーションを行いました。

水泳とスキューバダイビングに関連した種目をA組とB組の対抗で競技した他、クラス毎にも優劣を付けました。B組が勝利し3年B組が最優秀クラスとなりました。25m背泳ぎ(女子)、50m平泳ぎ(女子)、200mAB対抗リレー(女子)、50mフリップパー(女子)、50mレスキュー(女子)の5種目で大会新記録が出るなど、レベルの高い競技となりました。

7月10日遠足について

第1学年は三原山のお鉢めぐりを実施しました。大島では今年になってから地震が多い時もあり、噴火の兆候ではないかと懸念がある中、実施については慎重に情報収集をしました。当日は大島町役場災害対策本部から「噴火の心配は無い」との情報を得て決行しました。

学校出発時は山頂が雲で覆われており、登山が心配でしたが、集合写真を撮る9時40分頃より山頂が見え始めました。山頂を10時前に出発し、お鉢巡りをして温泉ホテルに向かいました。

過去には一回も三原山に登らず卒業していく学年もありましたので、実施できて良かったです。温泉ホテルでは昼食をとり、温泉に入りました。(第1学年主任 平塚 正彦)



第2学年は貸切りバスで岡田港に向かいました。日の出浜での海水浴、磯あそび、栈橋での魚釣りの中から、各自が希望した活動を午前午後に分けて楽しみました。昼食は、班ごとに分かれてのバーベキュー。これまでも、島内の他の行事でも経験しているため、生徒たちは手際よく準備しました。昼食後は、スイカ割りに興じるグループも見られました。

約1か月半前から、実行委員を中心に、様々な面での検討、決定を重ねてきました。生徒自身の手で自分たちが楽しめる遠足にできたのではないかと感じられます。(第2学年主任 海原 由樹)

第3学年の遠足は、伝統的に式根島に行くことになっています。ふだん新島と式根島を結ぶ定期便として運航している連絡船「にしき」をチャーターして、式根島へ行きました。

前日までの曇り予報はなんのその、当日は朝からぐんぐん気温が上がり、生徒達の気分も上がっていきました。島では、一人一台自転車を借りて、一路、大浦海岸を目指しました。今年の昼食はBBQではなく、島の名物「たたきあげ」などが入った島弁当にしました。ボリュームがあり、女子には少し多かったかもしれませんが、おいしくいただきました。その後、集合時間まで班別行動とし、島内を巡りました。海水浴、釣り、温泉、グルメと思い思いに過ごしました。すっかり日焼けをして帰りの「にしき」では、ぐったりという人が多かったのです。10期生の遠足は2年連続で好天に恵まれ、いい思い出を刻むことができました。1年次に出来なかった三原山登山も先日のPTAレク(6月24日)で達成し、思い残すことはありません。進路実現へ向けて気の抜けない10期生にとっては、束の間のリフレッシュとなりました。

(第3学年主任 木村 専一)

